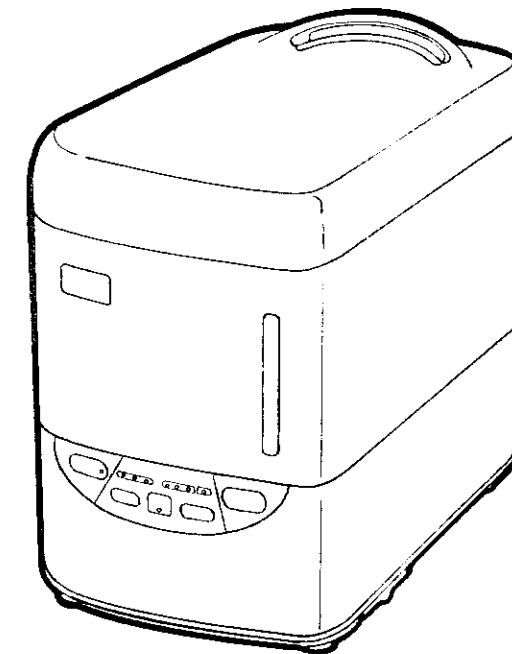


取扱説明書

(保証書付) 保証書はこの取扱説明書の裏表紙についています

日立加湿器 《スチームファン式》 SVF-40形

このたびは日立加湿器をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
●この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくご使用ください。
●お読みになったあとは「ご相談窓口一覧表」とともに大切に保存してください。



湿度センサー内蔵
センサーで湿度を検出し、設定された湿度に自動的にコントロールします。

もくじ	ページ
●安全のため必ずお守りください	2~3
●各部のなまえ	4
●置き場所について	5
○正しい置き場所	5
○悪い置き場所	5
●正しい使いかた	6~7
○運転と停止	6
○自動湿度調節運転のしかた	7
○湿度の簡単な見分けかた	7
●一般的なご注意	8
●お手入れのしかた	8~9
●故障かな?と思ったら	10
●保管	10
●保証とアフターサービス	11
●仕様	11

愛情点検

長年ご使用の加湿器の点検を!

●加湿器の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後5年です。

お願い

故障や事故防止のため、スイッチを切りコンセントから差込プラグを抜き販売店にご連絡ください。点検・修理についての費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

ご使用の際このようなことはありませんか。

- 水漏れがする。
- 本体が異常に熱くなる。
- 運転中異常な音がする。
- その他の異常・故障がある。

株式会社 日立ホームテック 株式会社 日立製作所
〒105 東京都港区西新橋2-15-12 電話 (03) 3502-2111

日立加湿器保証書 持込修理

形名	SVF-40	保証期間	本体：1年
※お買い上げ日		平成	年 月 日
※お客様	ご住所 ご芳名	様	
※販売店	住所 店名	電話	()

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用して故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。お買い上げの日から左記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただきお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
(イ)使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
(ロ)お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
(ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
(ニ)車両、船舶にとう載して使用された場合に生じた故障または損傷。
(ホ)業務用で使用されて生じた故障または損傷。
(ヘ)本書のご提示がない場合。
(ト)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
- この商品について出張修理をご希望の場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には別紙の日立家電品ご相談窓口一覧表をご覧のうえ、お近くの窓口にご相談ください。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または別紙の日立家電品ご相談窓口一覧表の窓口にお問い合わせください。
●保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

修理メモ

.....



.....

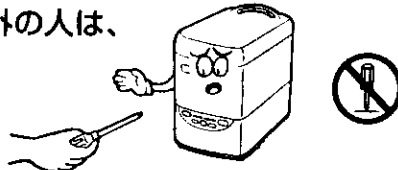
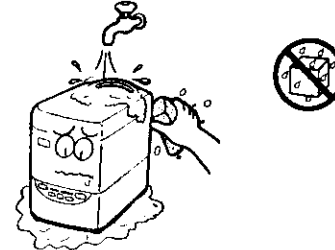
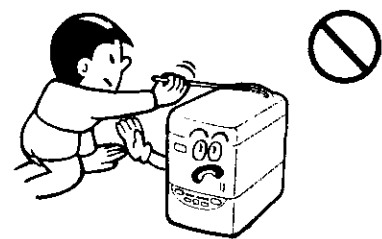
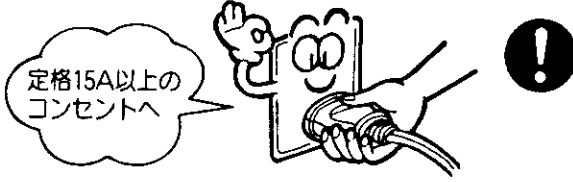
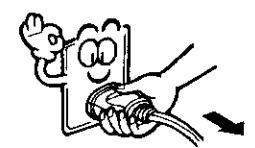


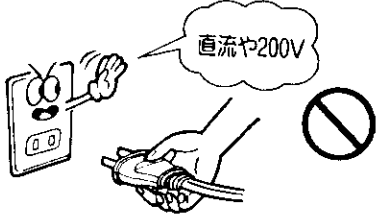
.....

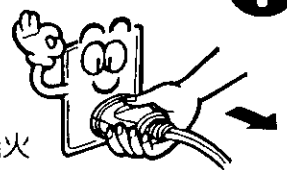
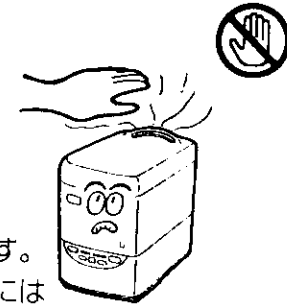

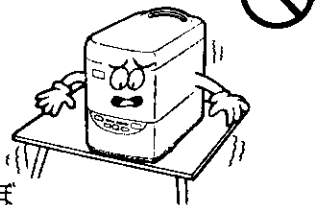

株式会社 日立製作所
〒105 東京都港区西新橋2-15-12 TEL(03)3502-2111

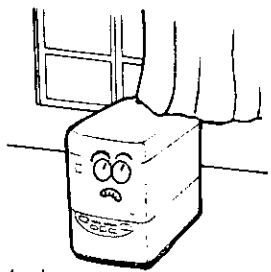
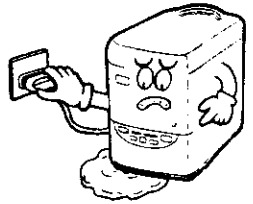
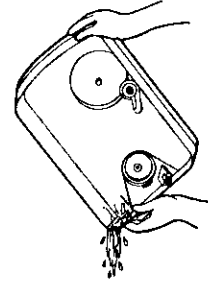
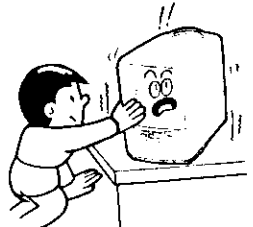
安全のため必ずお守りください

この取扱説明書および製品への表示では製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示を行っています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

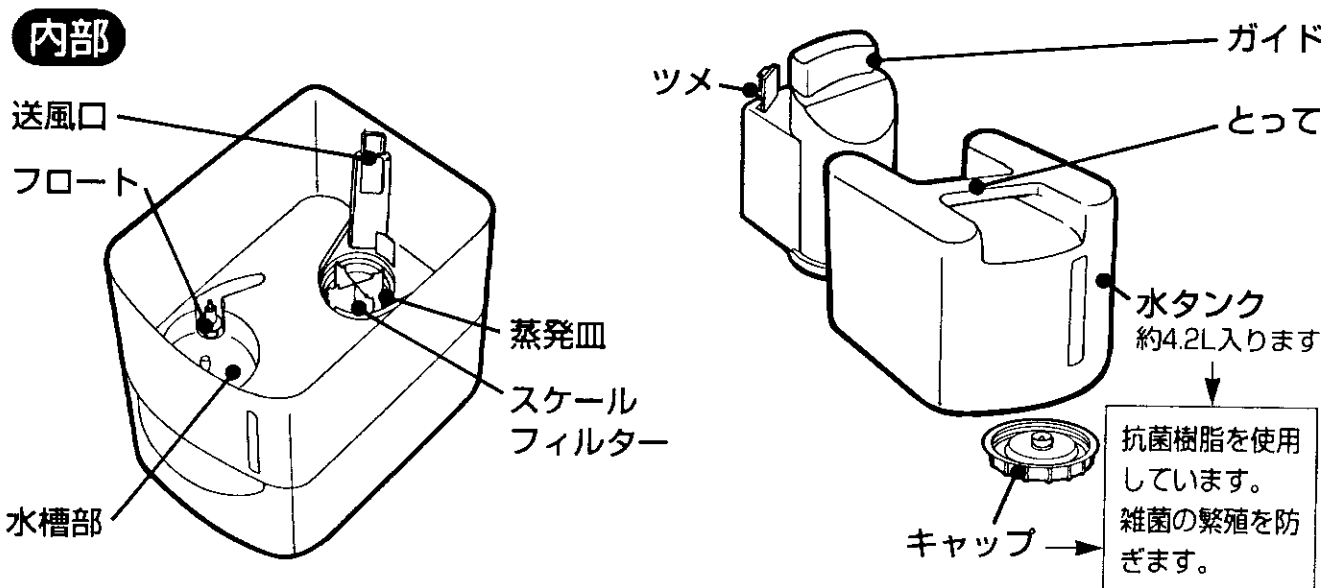
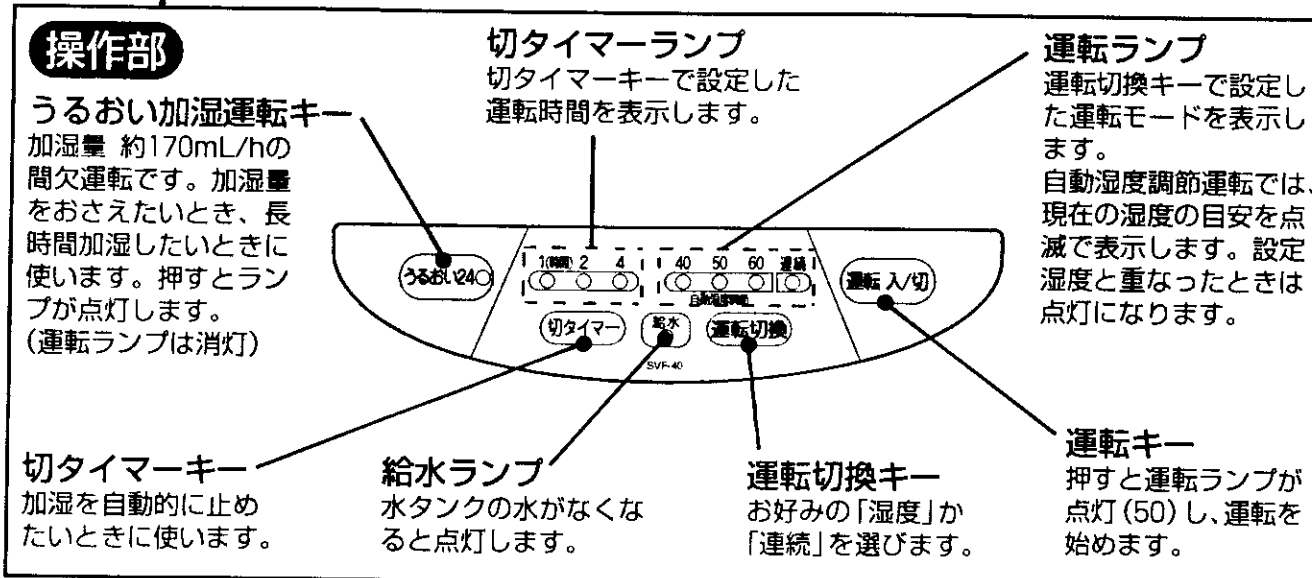
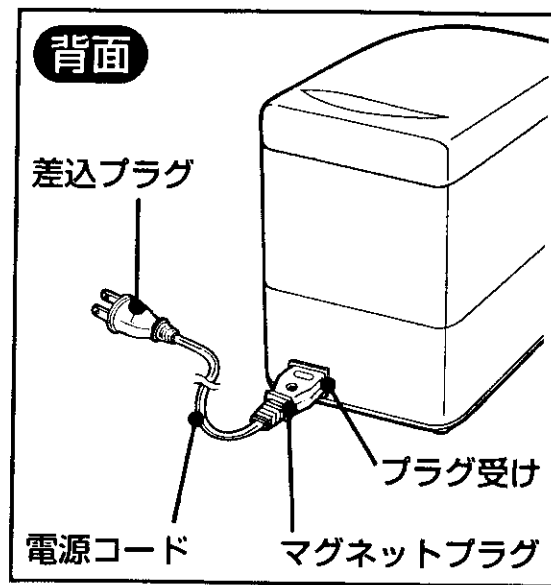
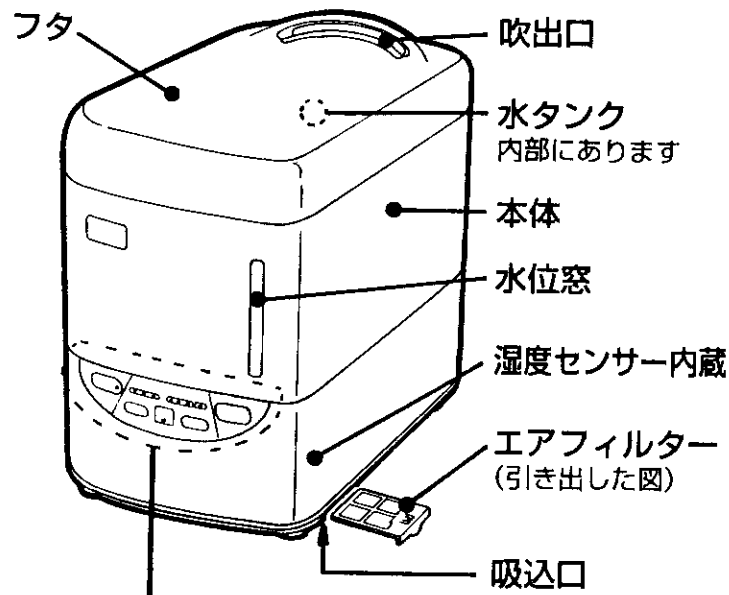
警告	この表示は、誤った取扱いをすると、使用者が死亡・重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。	絵表示の例	 禁止の行為を表わす
注意	この表示は、誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を表示しています。		 強制の行為を表わす

警告	
<p>改造は絶対にしない。また修理技術者以外の人、分解したり修理しない</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● 火災・感電・けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店または最寄りのご相談窓口(別添)にお問い合わせください。 	<p>水につけたり、水をかけたりしない</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● ショート・感電のおそれがあります。
<p>吸込口や吹出口などのすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● 感電や異常動作してけがをすることがあります。 	<p>定格15A以上のコンセントを単独で使う</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● 他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。
<p>お手入れの際は必ず差込プラグをコンセントから抜き、マグネットプラグも抜く また、濡れた手で抜き差ししない</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● 感電やけがをすることがあります。 	<p>電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、重いものをのせたり、はさみ込んだりしない</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
<p>電源コードや差込プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● 感電・ショート・発火の原因となります。 	<p>交流100V以外では使用しない</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● 火災・感電の原因となります。

注意	
<p>差込プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の差込プラグを持って引き抜く</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● 感電やショートして発火することがあります。 	<p>蒸気吹出口にさわったり顔を近づけない</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● やけどの原因になります。特にお子様やお年寄りには注意してあげてください。
<p>使用中や停止直後は移動やお手入れをしない</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● 熱湯がこぼれてやけどの原因になります。 	<p>不安定な場所には置かない</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● 転倒すると熱湯がこぼれて、やけどの原因になります。
<p>使用しないときは差込プラグをコンセントから抜く</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● 差し込んだままにしておきますと、けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。 	

注意	
<p>吹出口をふさがないでください。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● 変形や故障の原因になります。 	<p>水漏れしたときは使用しないでください。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● 感電の原因になります。 ● 水漏れしているときは、差込プラグを抜き、必ず修理を依頼してください。
<p>本体内の水を排水するときは、本体に刻印されている「排水方向」に排水する。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● 本体内部に水が回り込んで、感電、ショート、発火の原因になります。 	<p>倒さないでください。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● 転倒すると熱湯がこぼれ、やけどの原因となります。倒したときは差込プラグを抜いてください。

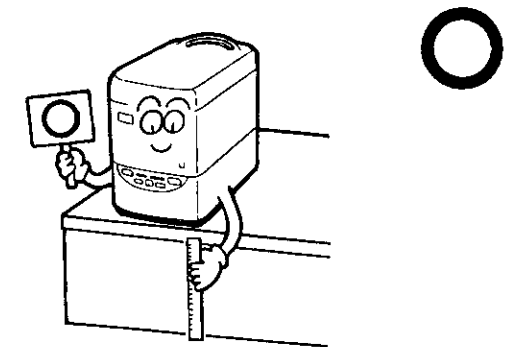
各部のなまえ



置き場所について

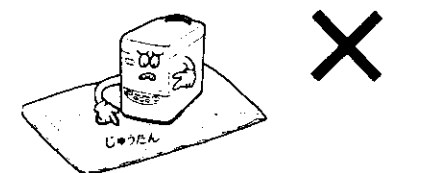
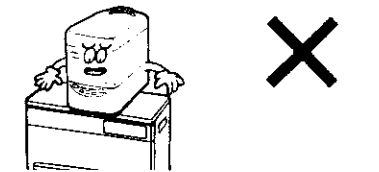
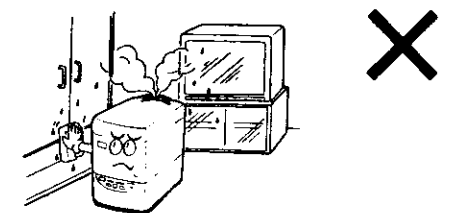
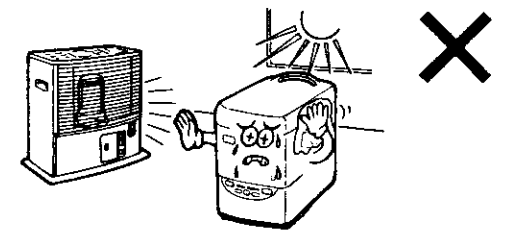
正しい置き場所

- 床面から約0.5~1.0mの棚やテーブルの上などの水平で振動のないところに置いてお使いください。満水時には約7.2kgの重さになりますので、しっかりしたテーブルの上に置いてください。置くときにはテーブルクロスなどやわらかい敷物を敷かないでください。吸込口が底面にありますのでテーブルクロスなどで吸込口をふさぐことがあります。



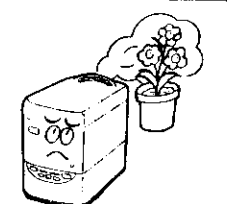
悪い置き場所

- 暖房器具などの近くで、高温になるところ。輻射熱や温風を直接受けるところ。直射日光のあたるところ。油のつきやすいところ。プラスチック部分が変形、変質したり、湿度センサーが正しく働かなくなることがあります。
- 加湿器の蒸気が直接家具、楽器類、テレビなどの電気器具、壁、天井などにあたり、周りに障害物があるところ。家具などにしみや変形が起きたり、故障の原因になることがあります。
- 温風暖房器の上。暖房器の熱で変形したり、故障の原因になることがあります。また湿度センサーが正しく働かなくなることがあります。
- 吸込口をふさぐおそれのあるところ。吸込口が底面にありますので、じゅうたんやカーペットの上に直接置かないでください。蒸気の出かたが悪くなったり、故障の原因になります。



注意

この加湿器は室内(居住空間)の加湿専用です。これ以外の目的では使用しないでください。
●特に業務用や温室での使用、野菜や植物の乾燥防止などで湿度の高いところでの使用は、感電、故障、火災などの原因になります。また吸入器のかわりとしての使用もおやめください。

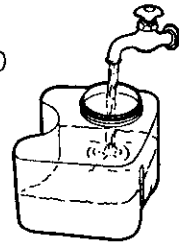


正しい使いかた

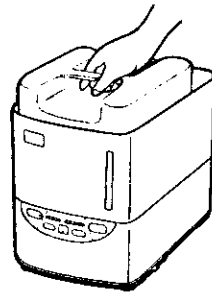
運転と停止

1 給水する

①フタを外して水タンクを取り出し、キャップを外してきれいな常温の水道水を入れてください。

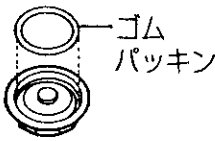


②こぼれた水をふきとり、キャップを確実に締めてから本体に入れ、フタを閉じてください。

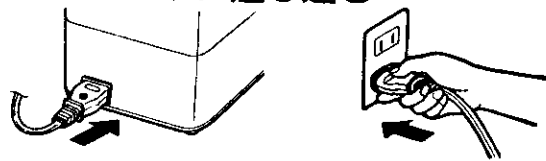


⚠注意

- 給水は必ず水タンクにしてください。本体内に直接給水すると、送風口に水滴が入ったりして、故障や感電のおそれがあります。
- 水タンクは満水時約4.5kgの重さになります。手に持たずに置いて給水してください。
- キャップを外したときパッキンが外れることがあります。万一外れたときは、図のように溝にはめ込んでください。
- お湯(40℃以上)や化学薬品、芳香剤、汚れた水など入れないでください。



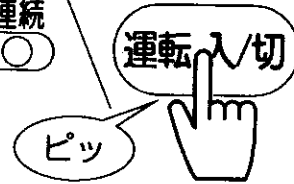
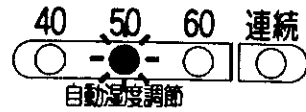
2 マグネットプラグを本体のプラグ受けに取り付け、差込プラグを100Vのコンセントに差し込む



運転中にマグネットプラグや差込プラグが外れると「ピッ」と音がします。

3 運転入/切キーを押す

「ピッ」と音がして運転ランプの「50」が点灯し、約3~4分ほどで吹出口より蒸気が出始めます。



- 差込プラグやマグネットプラグを抜かなければ、前回の運転モードで運転します。
- 自動湿度調節運転時は、スタート後約15秒たつと現在の湿度の目安をランプの点滅で表示します。ただし「連続」・「うるおい加湿」運転時は表示しません。
- お部屋の温度、湿度の状態によっては、蒸気が見えにくいことがあります。
- 「うるおい加湿運転キー」、「切タイマーキー」を押して運転を開始することもできます。

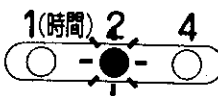
4 停止するときは運転入/切キーをもう一度押す

運転ランプが消灯し、運転を停止します。

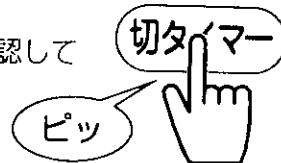
- 停止後約30秒間はファンが回っています。
- 停止後も5~6分間は蒸気が出ますので、吹出口には手を触れないでください。

切タイマーの使いかた

加湿を自動的に停止したいとき使います。切タイマーキーを押すごとに「ピッ」と音がして表示が切り換わります。(1→2→4→解除→1...)ご希望の時間にセットしてください。



- 解除したときは「ピピッ」と音がします。
- 水タンクの水量を確認してください。



自動湿度調節運転のしかた

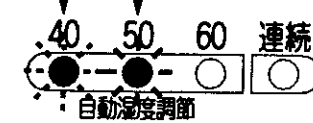
運転切換キーを押して好みの湿度に設定する。押すごとに「ピッ」と音がして、運転ランプの表示が図のようになり設定できます。

湿度の目安は

- 「40」(低め): 約40%
- 「50」(標準): 約50%
- 「60」(高め): 約60%です。

- 再び「50」(標準)にもどると、「ピピッ」と音がします。
- 「湿度センサー」は、加湿器前面付近の湿度を感知しております。
- 現在の湿度の目安を運転ランプの点滅で表示し、設定湿度と重なるときは点灯になります。

現在の湿度(点滅) → 設定湿度(点灯)



なお、現在の湿度が30%以下のときは「40」の点滅、70%以上のときは「60」の点滅で表示しますが、このときは設定湿度の表示と重なっても、点滅を続けます。

うるおい加湿運転

長時間加湿量をおさえたいとき、このキーを押して運転します。

- 自動湿度調節はできません。
- 切タイマーはセットできません。



お願い

- 湿度センサーは暖房 airflow があつたり、直射日光で暖められたりすると、室内の湿度と異なるコントロールをします。なお、同じ部屋でも場所や高さにより湿度が異なり、他の湿度計と差が出ることもあります。
- 設定された湿度に達すると蒸気は出なくなりますが、ファンは回っています。加湿を必要としないときは運転を停止してください。
- 設定された湿度を保つため、現在湿度の表示が設定湿度になっても加湿を続けます。

湿度の簡単な見分けかた

暖房中の快適な湿度は50%前後といわれていますが、結露による悪影響を防止するために次のような点に注意して、加湿器を運転してください。

○湿度が高すぎる時

- ① 比較的寒い北側の押入れなどに露がついたり、湿っぽい感じがする。
- ② 窓や壁に露がたくさんつき、流れ出している。

○湿度が低いとき

- ① くちびるやのどが乾き、ひふがかかさする。
- ② 家具などのすき間が大きくなり、建具がそる。

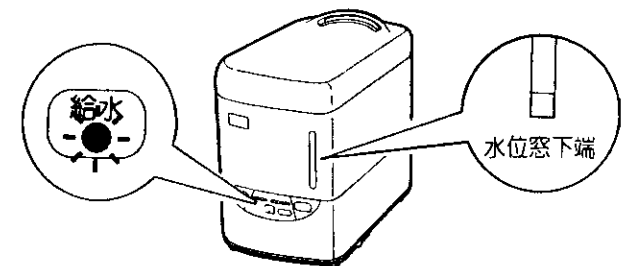
お願い

- ① 暖房されていない部屋や暖房しはじめの寒い部屋の場合、加湿器をすぐに使用すると、部屋の壁や床などは冷たいため加湿器の蒸気が水滴となってつくことがあります。お部屋の温度が上がってから加湿器を運転してください。
- ② 「湿度の簡単な見分けかた」は目安です。気密性の良い部屋などでは50%前後の湿度でも温度の低い窓などに結露する場合があります。

水がなくなったときは

水タンクの水位が水位窓下端に近づいたら、水タンクに水を補給してください。

- 水タンクの水がなくなると、給水ランプが点灯して自動的に蒸気が止まります。
- 給水ランプ点灯後、約1時間ファンが回転しています。給水ランプ点灯中は、給水した水タンクをセットすれば自動的に蒸気が出てきます。



一般的なご注意

●湿度の高い(70%以上)ところでは使わないでください。

湿度が高いときには蒸気が空気中にとけ込まないで、家具や床を湿らしたり、ぬらすことがあります。

●使用水の注意

- 水タンクの水は毎日新しい常温の水道水と入れ変えてお使いください。
- 本体水槽部や蒸発皿は1週間に1~2回程度掃除して、いつも清潔にお使いください。水道水にはカルキなどが含まれており、蒸発すると残留物が蒸発皿やガイド部・スケールフィルターに付着します。放置すると固着し、取れなくなることがあります。

●凍結のおそれのあるときは

水タンクと水槽内の水を捨ててください。水タンクがわれたり、故障の原因になることがあります。万一凍結したときは、完全に解けてからご使用ください。

●お子様やお年寄りには注意してください。

お子様やお年寄り、ご病人のおられるご家庭では、加湿のしすぎや、本体の取扱いなどについて注意してあげてください。

●暖房を止めたときは、加湿器も止めてください。

暖房を止めた部屋で使用すると、室温が下がり湿度が上昇して、結露などの悪影響があります。おやすみのときなどは特にご注意ください。

●ラジオ・コードレス電話などに雑音が入ることがあります。

加湿器から50cm以上離したり、向きを変えたりしてください。

●本体のそばに磁石や強い磁気のを置かないでください。

誤動作するおそれがあります。

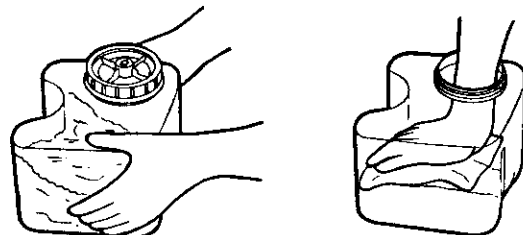
お手入れのしかた

⚠注意

- 必ず運転を止め、差込プラグをコンセントから抜いて、本体が冷えるのを待ってから行ってください。ご使用後30分以内はお湯や蒸発皿が高温ですから、やけどのおそれがあります。
- 分解は故障の原因となりますので、絶対におやめください。

◆水タンク内の清掃(週に1~2回以上)

水タンク内に水を半分(約2L)ほど入れ、キャップを締めて水タンクをよく振り、排水してください。(これを2~3回繰り返します。)



- 汚れがひどいときは、給水口から手を入れて洗ってください。

◆本体の水の抜きかた

①水タンクを外し、次にガイドおよびスケールフィルターを取り出します。

②図のように、本体に刻印されている排水方向に本体を静かに傾け、排水します。

●急に本体を逆さにしたり、図の方向以外に傾けて排水しないでください。

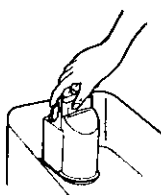
故障の原因になります。

●プラグ受けに水がかからないよう注意してください。



●ガイドの外しかた

ガイド上部の送風口にかかったツメ部を指でつまんで外し、ガイドを引き上げると外れます。



◆蒸発皿・水槽・フロートの清掃(週に1~2回以上)

- ①本体の水を抜いてから水に浸した布でふいてください。蒸発皿の汚れが落ちにくいときは歯ブラシなどをお使いください。
 - ②フロートの周りにごみが入っていたら取り除いてください。
- ごみが付着すると正常に動作しないことがあり、器具をいためますのでご注意ください。

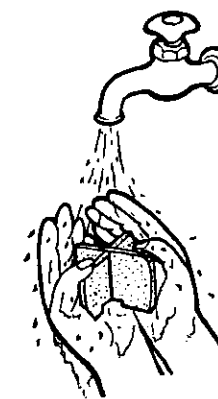


◆スケールフィルターの清掃(週に1~2回以上)

- ①水タンクを外し、次にガイドとスケールフィルターを抜き取ってください。
 - ②スケールフィルターは洗剤などをつけずに、水道水で手もみ洗いしてください。
- スケールが多量に付着し、もみ洗いしても汚れが取れないときや、破損したときは、新しい部品をお買い上げの販売店でお求めの上、取付けてください。

スケールフィルター：部品番号 SV-40D 017

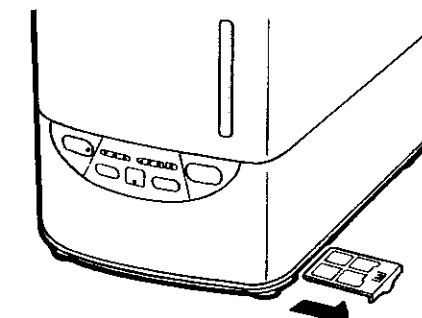
- 清掃後は必ず本体に取付けてください。



◆エアフィルターの清掃(週に1~2回以上)

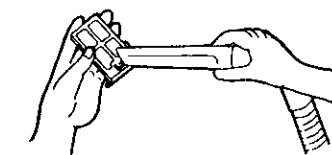
本体底面の右側にあるエアフィルターを抜き取り、掃除機などでほこりを取り除いてください。

- 汚れがひどくなりますと蒸気の出かたが弱くなり、また正しい湿度検知をしなくなりますので、早めに清掃してください。
- 清掃後は必ず本体に取付けてください。



◆本体・ガイドなどの清掃

本体は水を含ませた柔らかい布で汚れをふき取ってください。ガイドは水洗いしてください。



⚠注意

- 蒸発皿など内部の清掃に金属ブラシや塩素等酸性タイプの洗剤を使わないでください。
- ベンジン・シンナーなどではふかないでください。変色や変形の原因となります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。
- 清掃後は、スケールフィルター、ガイド、エアフィルターを取り付け、水タンク、フタをセットしてご使用ください。

故障かな?と思ったら

次のような症状のとき、異常でないことがあります。下表を参考にしてもう一度確認してください。

症状	点検するところ	直し方
蒸気も風も出ない 運転ランプが点灯しない	差込プラグやマグネットプラグが外れていませんか	マグネットプラグをプラグ受けに取り付け、差込プラグをコンセントに差し込む
運転ランプは点灯し、風も出ているが蒸気が出ない	うるおい加湿運転を設定していませんか	正常です(間欠運転なので約3分くらい蒸気が出ないことがあります)
	お部屋の湿度が「設定湿度」より高くなっていませんか	そのままにしておきます(お部屋の湿度が下がると蒸気が出ます)
	湿度の設定が低すぎていませんか	適切な位置に設定し直す
	給水ランプが点灯していませんか	給水をする
途中で運転が止まる	給水ランプが点灯していませんか	給水をする
	湿度の設定が高すぎていませんか	適切な位置に設定し直す
自動湿度調節運転時、室内の湿度が高くなってもしまらない	本体に直射日光や強い光があたっていませんか	設置場所を変える
	温度の高いところに置かれていませんか	熱の影響を受けにくい場所に移す
蒸気がにおう	蒸発皿、スケールフィルターなどが汚れていませんか	本体や水タンクに残っている水を捨て、「お手入れのしかた」にしたがって掃除する
運転キーを押してもすぐに蒸気が出ない	3~4分で蒸気が出ます	正常です(蒸気が出るまで3~4分かかります)またお部屋の温度、湿度の状態によっては蒸気が見えないことがあります

- こんなランプ表示が出たら**
- 給水ランプの点滅 …… 湿度センサーの故障です
 - うるおい加湿ランプの点滅 …… 制御回路の故障です

このようなときは、差込プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または、最寄りの「ご相談窓口」(別添)に表示内容を連絡しご相談ください。

保 管

お手入れ・清掃をしたあと、水槽・水タンク・蒸発皿・ガイドなどの水分をよくふき取り、陰干しして十分に乾燥させてから、取扱説明書とともにお買い上げ時の箱に納めて、湿気の少ないところに保管してください。

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

■保証書 (この商品は保証書付きです)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのと大切に保管してください。

- 保証期間はお買い上げの日から1年です。

■修理を依頼されるときは 持込修理

「故障かな?と思ったら」の項目を調べていただき、なお異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

- 保証期間中は
修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。
- 保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

■補修用性能部品の最低保有期間

当社はこの加湿器の補修用性能部品を、製造打切後5年間保有しています。

- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理料金の仕組み

修理料金=技術料+部品代です。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費・技術教育費・測定機器等整備費・一般管理費などが含まれています。
-----	---

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
-----	---

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りの「ご相談窓口」(別添)にお問い合わせください。

■ご転居されるときは

ご転居によりお買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。

ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

仕 様

形 式	SVF-40
定 格	単相100V 50-60Hz 365W
最 大 加 湿 量	420mL/h(室温20℃、湿度30%、水温20℃のとき)
適 用 床 面 積	木造和室: 11m ² (7畳)、プレハブ洋室: 18m ² (11畳)
タ ン ク 容 量	約4.2L
寸 法	(幅)205mm×(奥行)283mm×(高さ)280mm
質 量 (重 量)	3.0kg